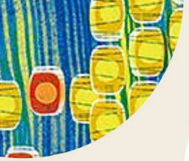


風格と華やぎの

まち歩きギャラリー

— 人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通 —

市民による自治120年

京都市
CITY OF KYOTO

御挨拶

京都市長　門川 大作

より歩きやすく,より楽しい四条通に！

歩道の拡幅完成からもうすぐ3年。広くなった四条通の歩道がこの度，地上機器の移設と美装化により，更に歩きやすく，楽しい空間へと生まれ変わりました！

多くの皆様の御理解と御協力の下で進めてきた「人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通」歩道拡幅事業は，平成27年10月，構想から約10年の歳月を経て拡幅工事が完了しました。以来今日まで，多くの方々から「ゆったりと歩けるようになった」「まち歩きを楽しめるようになった」との嬉しいお言葉を頂戴しています。また，数々の権威ある学会賞等を受賞するなど，本事業は各方面からも高い評価を頂いています。

しかしその一方で，歩道の中央に残された一部の地上機器が安全面や景観面で課題となっていました。そこで本市では，四条繁栄会商店街振興組合の皆様や京都市立芸術大学の先生や学生たちと検討を重ね，歩行者の安全対策に加え，まち歩きがより楽しくなるアイデアを捻出。そしてこの度，芸大生のデザインによる，京都の四季の移ろいや景観などを描いた磁器板の地上機器美装化が実現したのです。組合の皆様や芸大の皆さんをはじめ，これまでお力添えをいただいた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

本市といたしましては，今後も京都のメインストリートである四条通の更なる活性化に努めるとともに，この事業の成功を大きな力に，「歩くまち・京都」の実現に引き続き全力で取り組んでまいります。皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

お祝いの言葉

四条繁栄会商店街振興組合
理事長　野村 清孝

華やぐ四条通

平安建都による四条大路の開通以来，私たちの街は幾多の変革に挑戦してきました。近代では，明治末から大正にかけて「京都三大事業」として行われた四条通の拡幅・市電敷設は，今日の街の基盤を形づくるものでありました。

また，古くから栄えたこの街で，商売人140名が集まって「京都四条繁栄商業組合」を立ち上げたのは昭和8年(1932年)のことです。共同の売り出しや宣伝，照明，散水，配達などの諸事業に取り組み，昭和43年（1968年），現在の「四条繁栄会商店街振興組合」に衣替えした後は，「風格と華やぎのメインストリート」をコンセプトに，様々なまちづくりに取り組んで参りました。

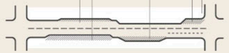
なかでも，平成14年度の地区計画策定，平成15年度の内閣府「都市再生モデル調査」などから発した「四条通の歩道拡幅」の試みは，組合員，周辺地域の皆様，京都市・京都府警をはじめとする関係機関など多くのご支援ご協力により実現した大事業です。

当組合は今年，設立50年を迎えました。記念すべきこの年に，歩道拡幅に係る一連の事業の集大成として，華やかに美装化された地上機器が完成しますこと，誠に喜ばしく思います。京都市はじめ関係者の皆様に，改めまして御礼申し上げます。

市民や来街者の皆様に愛される商店街を目指して，今後とも組合員一同，尽力して参る所存です。引き続きのご指導・ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

事業概要

- 事 業 名　「人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通」歩道拡幅事業
- 事業期間　平成25年5月～平成30年8月
- 事業箇所　四条通（烏丸通～川端通）
- 整備内容　(1)歩道の拡幅
  (2)左折車線
  (3)タクシー乗り場
  (4)テラス型バス停
  (5)沿道アクセススペース
  (6)地上機器の移設
  (7)地上機器の美装化



事業経過

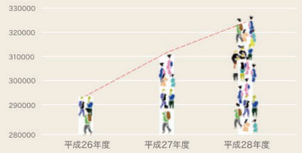
- 平成25年 5月
  事業認可
- 平成26年 11月
  工事着手
- 平成27年 10月
  歩道の拡幅工事が完成
- 平成27年 11月
  地上機器の移設に着手
  ⇒既設地下埋設物の影響により，一部の地上機器が歩道中央に残ることに･･･
- 平成28年 4月
  歩道中央に残る地上機器の安全対策を目的に，四条繁栄会商店街振興組合，京都市立芸術大学と共に美装化の検討を開始
- 平成30年 6月
  地上機器の移設が完成
- 平成30年 8月
  地上機器の美装化が完成

⇒地上機器の安全対策を目的に始まった検討が功を奏し，更なる『歩いて楽しい歩行空間』に！

※地上機器の美装化：地上機器上部に，京都市立芸術大学がデザイン、制作を行った磁器板を設置【磁器板デザインの配置は裏面のとおり】

事業の効果

- 四条通の歩行者数の推移



- 四条通の「賑わい」の変化

- はい … 63%
- いいえ … 13%
- その他 … 24%

6割以上の方が
以前より「賑わい」を感じている

- 四条通の「歩きやすさ」の変化

- なった … 76.4%
- 以前から歩きやすい … 13.5%
- 以前から歩きにくい … 6.2%
- 歩きにくくなった … 3.9%

9割以上の方が
「歩きやすさ」を感じている

- 四条通の「楽しさ」の変化

- 楽しめるようになった … 42.7%
- 以前から楽しい … 43.5%
- 以前から楽しくない … 7.6%
- 楽しくなくなった … 6.2%

9割以上の方が
「楽しさ」を感じている

学会賞等受賞経歴

受賞記念の碑(四条河原町南西)

- 土木学会技術賞
- 国際交通安全学会賞
- 日本都市計画学会石川奨励賞
- 全国街路事業コンクール会長賞

四条通のいま

京都市建設局道路建設部　道路環境整備課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
TEL (075) 222-3570　FAX (075) 213-0193

平成 30 年 9 月発行 京都市印刷物　第 303094 号

四条通 まち歩きギャラリーマップ

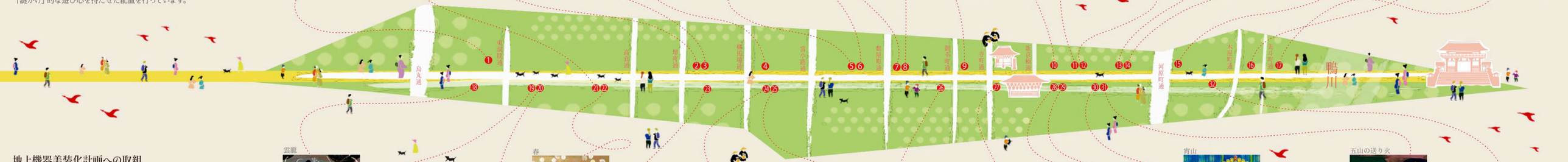
磁器板デザインのテーマ　『 洛中洛外−印象 』

平安京の四条大路から連綿と続く，東西の中心軸,四条通を京都の往来の中心と位置づけ，“まち歩きギャラリー”の全体テーマを『洛中洛外 − 印象』としました。

作画は,市立芸術大学 ビジュアル・デザイン研究室4回生の西谷 伶さん（2016年度卒業）が担当しました。制作は2016年春から1年の時間を要しましたが,西谷さんの若い感性が洛中洛外の景観や文物，行事や風俗等から直想したモチーフや印象を再解釈し，過去と現在を融合させた38点の作品が完成しました。

この38作品では,『春-綿玉』,『夏-流れ』,『秋-煌き』,『冬-刷毛目』の穏やかな基本パターンで四季を設定し,展開させることで，全体イメージの統一感を配慮しました。さらに,月次絵の手法を借りながら,四季の移ろいの中に在る様々な京都の印象を表現しています。

磁器板の配置に関しては，絵画の色彩や画題，季節感等を優先し,往来の回遊性を促すべく飽きのこないリズムで設定を行いましたが,『新京極-映画の街』や『烏丸 ／ 東洞院-山鉾巡行』等，設置場所の歴史的な成り立ちや南北の通りのそこここに在る拠点をもひもとき,「謎かけ」的な遊び心を持たせた配置を行っています。

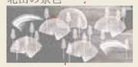


地上機器美装化計画への取組

「地上機器の美装化」 を手がかりに,『人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通』への実現のためにどのような提案がふさわしいのか？京都市立芸術大学 ビジュアル・デザイン研究室は,京都の魅力を若い感性で再解釈し,街の魅力を発見できる『まち歩きギャラリー』の創設が必要ではないかと結論づけました。さりげなく街を回遊したくなるような,そして,もっともっと散策したくなるような拠点づくり。磁器板への焼き付け技法で制作された,永年色褪せることのない絵画表現は,歴史と進取性が共存する京都の街並みにふさわしい,しなやかな作品となっています。

生命あるもの

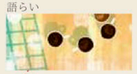
北山の景色



祭飾り

祇園巡行

語らい



阿国

旬の市

道通

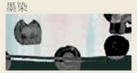
雁の渡り

文様

友禅流し

モダンシネマ

墨染

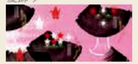


松竹梅

行き来

静寂の街

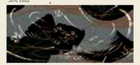
髪飾り



鴨川秋景

加茂の流れ

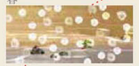
雲龍



花野

枝垂れ桜

春



嵯峨菊

香道

うつし鏡

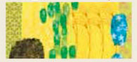
春の舞

町衆

春の七草

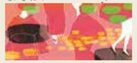
古都の街並み

秋の七草

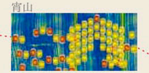


器

よそおい

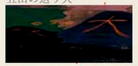


宵山



ものがたり

五山の送り火



祭四条傘鉾

祇園

リーフレットデザイン　鈴木結菜